様式2‐⑬

■実習自己評価表

|  |  |
| --- | --- |
| 受講番号 | 受講者氏名 |

|  |  |
| --- | --- |
| **実習のポイント** | **自己評価** |
| ①実習協力者に実習の目的や内容を説明し、居宅での面接で、実習協力者に快くお話をしていただくことができる。 | ５　４　３　２　１ |
| ②　居宅での面接で、実習協力者から必要な情報を得ることができる。 | ５　４　３　２　１ |
| ③「社会資源調査票」の作成ができる。 | ５　４　３　２　１ |
| ④「ICF思考による情報整理・分析シート」の作成ができる。 | ５　４　３　２　１ |
| ⑤「課題整理総括表」の作成ができる。 | ５　４　３　２　１ |
| ⑥　実習協力者のニーズを把握することができる。 | ５　４　３　２　１ |
| ⑦「ケアの目標」を設定することができる。 | ５　４　３　２　１ |
| ⑧　ケアプランに取り込むサービスの目標や内容を明確にすることができる。 | ５　４　３　２　１ |
| ⑨「サービス利用票簡易版」の作成ができる。 | ５　４　３　２　１ |
| ⑩「事例検討表」にポイントを整理して記載することができる。 | ５　４　３　２　１ |

■**実習自己評価表**

**自己評価について**

それぞれの項目にあてはまるものを下記より選び、自己評価欄に○印をつけてください。

　　　　　　５：的確にできた　　　４：何とかできた　　　３：どちらともいえない

　　　　　　２：あまりできなかった　　　１：できなかった